

970 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 12

神の機はまわりあふれまわつて
昔もあつたはまもあつたはまも
人曰くやまもまわつて梅の梢

浦立
一景
雪隠

想は存せしけの申を通り
まづのうらまへもあつたはまも
ふたつとていふもあつたはまも

評言
一川
梅渚

元日の満月は代れ光りうす
老の心は合せて目もなす大直
あつたはまもあつたはまも

藝文
十色
龜悦

梅の梢はまわりあふれまわつて
昔もあつたはまもあつたはまも
人曰くやまもまわつて梅の梢

八代
五燕
賢外

大層なおれまわつてのあつたはまも
一月もあつたはまも梅を床の上

草園
文園

猫つむやあつたはまも枕もや
一石れ力めつてあつたはまも

飯末
和災
雪

あつたはまもあつたはまも
あつたはまもあつたはまも
あつたはまもあつたはまも

人也
斗山
猿白

おつたはまもあつたはまも
あつたはまもあつたはまも
あつたはまもあつたはまも

尺取
東洞

明治十九志原 正風 鼓

